

後世に伝えるべき治山

よみがえる緑

10月3日、第51回治山シンポジウムの会場で治山事業が始まって100年が経過したのを機に選ばれた「後世に伝えるべき治山」60か所の事業地が公表されました。

明治から昭和の中期まで、日本各地には「はげ山」が多く存在し、災害が頻発していました。こうした山々も、現在は治山事業などによって緑がよみがえり、美しい景観や豊かな森林が広がっています。

今回「後世に伝えるべき治山」よみがえる緑」に選ばれたのは、先人たちの努力により荒廃した国土に美しい緑をよみがえらせた治山事業地です。

選考の対象となったのは、第1期森林治水事業が始まった明治44年度以降の治山事業により設置した施設または森林で、都道府県または森林管理局から「後世に伝えるべき治山」の候補として推薦された事業地です。

選定委員会では、推薦された事業地を「技術」、「事業の効果」、「地域への貢献」、「人々の記憶」の4つの視点に国民や関係者の理解の視点を考慮して総合的に評価・検討し、60か所を選定しました。

選定に当たっての4つの視点

技術	事業の効果	地域への貢献	人々の記憶
治山技術や土木技術の進展に貢献したもの(規模の大きさ、難易度の高さ、工法の新規性、希少性、当時の技術の代表)	防災等の効果が顕著に表れたもの(災害を未然に防止、被害の拡大防止)	地域社会の発展への寄与が顕著なもの(農林漁業の振興、住宅、宅地、観光地、文化財、景観等の保全、交通の確保)	記録や記憶、社会的な話題性などが高いもの(歴史・文化、社会的な話題性、関係者の努力や苦勞、地域の絆)

国民や関係者の理解の視点を考慮
<ul style="list-style-type: none"> ・地元関係者の推奨(市町村、林業関係者等) ・アクセス(森林や施設へのアクセスが容易、全体を概観できる場所がある) ・わかりやすさ(整備前後の写真等) ・地域の愛着(住民等の参加)

第51回 治山シンポジウム

「後世に伝えるべき治山～よみがえる緑～」

10月3日、国立オリンピック記念青少年総合センターで第51回治山シンポジウムが開かれました。

シンポジウムでは、「後世に伝えるべき治山」選定委員会座長で東京大学名誉教授の太田猛彦氏から選定結果の発表があり、続いて作家やジャーナリスト、技術者、行政の担当者などの立場から治山事業を討議するパネルディスカッションが行われました。



■プログラム

①「後世に伝えるべき治山」

選定結果の公表

プレゼンター

選定委員会座長
東京大学名誉教授 太田 猛彦氏

②パネルディスカッション

コーディネーター

治山懇話会代表世話人 鈴木 雅一氏(東京大学教授)

パネラー

東京大学名誉教授	太田 猛彦氏(選定委員会座長)
作家	青木 奈緒氏(選定委員)
ジャーナリスト	米倉 久邦氏(選定委員)
長野県王滝村長	瀬戸 普氏
森林部門技術士会	安田 伸生氏
元長崎県職員	市村 正彦氏



山形県庄内海岸



山梨県三ツ澤治山堰堤



長野県西部地震災害復旧事業

「後世に伝えるべき治山～よみがえる緑～」選考箇所一覧

番号	所在地	治山施設等の名称
1	北海道 稚内市	日本の最北で酪農地帯を守るメークマ海岸の治山事業
2	北海道 北見市	煙害の山を緑に戻し歴史的産業史跡を残したイトムカの治山事業
3	北海道 羽幌町	離島に創った水源林
4	北海道 月形町ほか	樺戸山系を治め石狩川の氾濫を鎮めた石狩川地区民有林直轄治山事業
5	北海道 洞爺湖町ほか	幾度の噴火災害に貢献した有珠山の治山事業
6	北海道 奥尻町	未曾有の被害から離島を復興させた北海道南西沖地震(奥尻島)の治山事業
7	北海道 森町ほか	土石流から街を守る駒ヶ岳の治山事業
8	北海道 えりも町	地域の協力を得て豊かな森と海をよみがえらせたえりも岬の治山事業
9	青森県 五所川原市	先人の知恵とヒバの耐久性を伝える木製堰堤
10	青森県 つがる市ほか	人々の暮らしを風や飛砂から守る屏風山海岸防災林造成事業
11	岩手県 宮古市	カスリン・アイオン台風の大災害の記憶を伝える治山事業
12	岩手県 一関市	平成20年岩手・宮城内陸地震を後世に伝える磐井川地区民有林直轄治山事業
13	秋田県 能代市	能代の街を飛砂から守る海岸防災林造成事業(風の松原)
14	秋田県 小坂町ほか	緑をよみがえらせた小坂鉱山煙害地復旧治山事業
15	山形県 酒田市ほか	人々の暮らしを飛砂から守る庄内海岸防災林造成事業
16	栃木県 日光市	自然景観に配慮しつつ長大な崩壊地を復旧してきた男体山治山事業
17	栃木県 日光市	足尾荒廃地の緑の復元(足尾治山事業)
18	神奈川県 山北町ほか	関東大震災からの復旧(丹沢・箱根地域)
19	神奈川県 山北町	昭和47年豪雨災害の記憶を伝える治山工事(足柄上郡山北町中川地内)
20	新潟県 長岡市	飛砂とのたたかいを克服した寺泊地区海岸防災林事業
21	新潟県 長岡市ほか	新潟県中越地震で発生した地すべりから住民の生活を守る中越地区直轄地すべり防止事業
22	新潟県 糸魚川市	大なだれから柵口地区を守る～なだれ誘導堤と雪ダム～
23	新潟県 妙高市	地域の安全・安心に貢献する「八幡」(上平丸)地すべり防止事業
24	富山県 入善町	農業の発展に寄与した入善海岸防災林造成事業
25	石川県 小松市	航空実播工法を採用した治山事業
26	石川県 加賀市	砂嵐の脅威から地域を保全した加賀海岸国有林海岸防災林造成事業
27	福井県 大野市	ミノ又谷大崩壊地における治山事業
28	山梨県 笛吹市	山地を守り続けて1世紀 三ツ澤治山堰堤
29	長野県 王滝村	御岳の土石流跡に緑を甦らせた長野県西部地震災害復旧
30	長野県 飯田市	砂防学校と共に歩み官民一体となって取り組んだ上久堅地区の治山工事

番号	所在地	治山施設等の名称
31	長野県 喬木村	鬼が住むと恐れられた大荒廃地「九十九谷」の森林再生
32	長野県 中川村ほか	伊那谷を襲った梅雨豪雨災害(36災害)山腹崩壊地復旧
33	岐阜県 土岐市ほか	土岐地区はげ山復旧治山工事
34	静岡県 静岡市	災害復旧の記憶を伝える安倍川民有林直轄治山事業
35	静岡県 静岡市	東海の大動脈を守る由比地すべり防止事業
36	静岡県 藤枝市	静岡県下最大級の雑割石空積工法を採用した滝沢地区治山事業
37	静岡県 御前崎市ほか	海岸地域の発展に寄与した遠州灘沿岸の斜め海岸林
38	愛知県 瀬戸市	ホフマン工事～日本に現存する唯一の欧州式治山工事施工地～
39	愛知県 瀬戸市	瀬戸のはげ山復旧と萩御殿
40	滋賀県 大津市	禿げ山から地域に親しまれる森林に復旧した田上山の治山事業
41	大阪府 泉南市ほか	泉南地域のはげ山復旧
42	兵庫県 神戸市ほか	豊かな緑を未来に ～六甲山の治山事業～
43	和歌山県 美浜町	煙樹ヶ浜松林保全に貢献した吉原地区治山事業
44	鳥取県 鳥取市	砂丘らっきょうをはじめとする地域産業の基盤形成に寄与した海岸防災林造成事業
45	島根県 浜田市ほか	昭和58年に発生した大災害の記憶を伝える災害復旧治山事業
46	岡山県 玉野市	岡山県玉野市における「はげ山」森林復旧
47	広島県 呉市ほか	広島県沿岸部のはげ山を復旧した治山事業
48	山口県 防府市	西目山地区における航空実播工
49	徳島県 三好市	大規模地すべりから地域を保全した平谷地すべり防止事業
50	愛媛県 今治市	護山治水
51	高知県 室戸市	大規模崩壊地(加奈木のつえ)の復旧により地域を保全した大道南山復旧治山事業
52	福岡県 添田町	地域防災に貢献した英彦山遊水堰堤
53	佐賀県 伊万里市	昭和26年に発生した大災害の記憶を伝える乙女地区地すべり防止事業
54	長崎県 長崎市	自然環境にやさしい工法を施工した福田地区復旧治山事業
55	長崎県 島原市ほか	緑を復元した雲仙・普賢岳の治山事業
56	長崎県 島原市	土石流から住民を守る眉山地区治山事業
57	熊本県 阿蘇市	九州北部豪雨災で効果を発揮した阿蘇山麓の治山施設群
58	大分県 由布市	由布院温泉郷を守っている治山ダム群
59	宮崎県 宮崎市	台風被害から山河を甦らせた鰐塚山系治山事業
60	鹿児島県 鹿児島市	土石流から生命・財産を守る桜島の治山施設